

南信州 阿智村 HANAMOMO

花桃って どんな花？

花桃は観賞するための桃で、阿智村では紅白ピンク3色に咲き分ける「三色花桃」を多く植栽しております。阿智村内でも各地の標高差により、開花期が異なるため4月上旬～5月上旬の長期間花を楽しめます。

昼神温泉郷

花桃エリアに湧く 美肌温泉



昼神温泉は、長野県南信州の山間にある静かな温泉郷です。昭和48年に偶然発見された新しい温泉で、阿智川の清流をはさみ大小19の温泉宿が、新しくも落ち着いた風情で佇んでいます。泉質はアルカリ性泉質でお肌をスベスベなめらかにしてくれます。pH9.7という強アルカリ性を誇る昼神温泉は、これもまた日本屈指の美肌の湯と評判です。

泉質：アルカリ性単純硫黄泉（無色透明）
浴用効果：リウマチ性疾患・運動障害・しもやけ・創傷・糖尿病
月経異常など
飲用効果：糖尿病・痛風及び尿酸素質性中毒症・慢性便秘
リウマチ性疾患・慢性気管支炎など

花桃開花の様子はHPで更新中！

【3月中旬～5月上旬】 [花桃の里](#)

www.hirugamionsen.jp



花桃開花情報 専用ダイヤル（24時間）

☎ 0265-48-5750

花桃ヒストリー

◆ 大正11年(1922年)

木曾川を開発した木曾発電機社長で福沢諭吉の娘婿にあたる福沢桃介さんが、ドイツのミュンヘンに行った折、庭に咲いていた3色の花桃の美しさに感動し、自分の名前に似た花の名であることから、3本の苗を購入し、大桑村の須原発電所構内に植える

◆ 昭和23年(1948年)

須原発電所に長年勤めていた妻籠宿(南木曾町)の藤原長司さんが、美しい花桃を何とか増やしたいと思い、落ちた実を拾い苗木を育て、妻籠の国道256線沿いに植える。これが「花桃街道」の始まりー

◆ 昭和50年ころ(1974年ころ)

妻籠宿から清内路村(現阿智村清内路)に嫁いだ大宮トメさんが、嫁入り道具の一つとして手にしてきた花桃の木を元に、地域の人々が清内路地区に花桃を増やしていく。桜より花の時期が長く色鮮やかな花桃は、清内路の人々に愛され門外不出の花となる

◆ 平成3年(1991年)

園原(阿智村)に地域振興事業として旅館「野熊の庄 月川」を開業。当時社長であった渋谷秀逸さんは、人も少なく殺風景な山里に嫁いでくれた嫁たちのはげみにしたいとの思いで花桃の植栽を考え、平成3年～平成7年にかけて約1000本の苗を清内路から譲り受け、旅館の周りや村道沿いに植栽管理を行う



◆ 平成14年(2002年)

月川温泉郷を「桃源郷」にしたい、と地域住民で「花桃の里作り委員会」が発足され、本格的に植栽始める。この後3年かけて2500本を植栽し、合わせて3,500本の花咲く里になる

◆ 平成17年(2005年)

地域住民・地元業者で組織する「花桃まつり実行委員会」が発足し、観光客向けの「花桃まつり」を開催

◆ 平成21年(2009年)

花桃の植栽管理を行い、地域づくりを実施・推進した功績により、渋谷秀逸さんが総務省実施の全国各地で地域のために努力する団体や個人を表彰する「地域づくり総務大臣表彰」を受賞

◆ 令和6年(2024年)

毎年植え続け、現在は月川温泉郷一带に約5,000本、阿智村から南木曾町へ抜ける国道256線「花桃街道」に約5,000本、阿智村全体では約10,000本の花桃が植えられている。「花桃まつり」は毎年20万人の来客があり、「日本一の桃源郷」と呼ばれる



日本一の

花桃の里

はなもも

さと

南信州 阿智村

お問い合わせ **阿智★昼神観光局**

〒395-0304 長野県下伊那郡阿智村智里338-25

TEL.0265-43-3001/FAX.0265-49-3170



神く和の里 昼神温泉郷

月川温泉郷

